

真偽問題 正しいものは①、正しくないものは②にマークしなさい。
①、②以外を塗りつぶすと誤答になります。

- 問(1) 一点イ音は、ピアノの鍵盤では 49A である。
- 問(2) 長音程の転回音程は、必ず長音程となる。
- 問(3) ニ長調とニ短調は、主音が共通している。
- 問(4) バロック音楽の代表的な作曲家では、J.ハイドンや W.A.モーツァルトがあげられる。
- 問(5) 割振りをおこなう時の4度の共通倍音などで、一般的に聞こえにくい音を超音波ということがある。
- 問(6) 2021年のショパン国際ピアノコンクールで公式ピアノに採用されたピアノの生産国は、日本、ドイツ、オーストリアである。
- 問(7) 次亜塩素酸水で白鍵を消毒した場合、拭き取る必要はない。
- 問(8) 最高音部の弦の打弦比は、およそ 1/20 である。
- 問(9) 象牙鍵盤の貼替修理を実施するには、特別国際種事業者の登録が必要となる。
- 問(10) ハーフペダルは、シフトペダルを踏み込んだ位置で効果が生まれる。
- 問(11) 純正5度を繰り返して割振りを行なった場合、長3度には純正に近い響きを持つものがある。
- 問(12) 低音のオクターブ検査によく用いられる短3度-長6度で、それぞれの唸りが同回数の場合、オクターブは正しい。
- 問(13) テーラーの公式とは、平均律の半音比を算出するために考案されたものである。
- 問(14) 調律カーブの存在は、弦の倍音構成が理想弦と異なることを意味する。
- 問(15) 「オクターブと長3度」の音程比は、2:3である。
- 問(16) アップライトピアノのダンパーペダルの遊びは、ダンパーロッドとダンパーレバークロスの距離を保つことで生まれる。
- 問(17) 鍵盤調整をする際の手順として、通常は最初にブッシングクロスを確認し、次にバランスホールを確認する。
- 問(18) ソステヌートペダルの調整は、ストロークの1/3程度の遊びを作る。
- 問(19) グランドピアノのハンマー戻り(ドロップ)のハンマー落下量は、ハンマー接近(レットオフ)と関連する。
- 問(20) アップライトピアノのキャプスタンボタンがワイペンヒールの手前側にあると、タッチが重くなる。
- 問(21) センターピン 19番のサイズは、1.200mm である。
- 問(22) 熱可塑性の接着剤は、加熱することで硬化する。
- 問(23) ブライドルテープが切れた場合は、キャッチャーシャックを必ず抜いて交換する必要がある。
- 問(24) アップライトピアノのダンパー圧が足りない時は、まずダンパーフェルトを貼り替える。
- 問(25) 電装部品を搭載したピアノが浸水した際は、電源コードをコンセントから抜いて洗浄し乾燥させる。

多肢択一(4択)問題

各問から、適切なものを1つ選びなさい。2つ以上選ぶと誤答になります。

問(26) イ長調の説明として正しいものを1つ選べ。

1. 調号は、シャープが4つである。
2. 下属音は、へ長調の導音と同じである。
3. 古典調律の名残で旋律的音階が多用される。
4. 平行調は嬰へ短調である。

問(27) 「交響曲の父」といわれる作曲家を選べ。

1. J.S.バッハ
2. G.F.ヘンデル
3. J.ハイドン
4. L.v.ベートーヴェン

問(28) 音について、正しくないものを1つ選べ。

1. 音速は温度によって変化し、気温 15℃より気温 0℃の方が速い。
2. 楽音の波形は、規則性がある。
3. 音波は、縦波である。
4. 音色は、音波の波形の違いによる。

問(29) 音楽家と楽器製作者の組み合わせのうち、最も関連が深いと考えられるものを1つ選べ。

1. J.S.バッハ と B.クリストフォリ
2. W.A.モーツァルト と A.シュタイン
3. L.v.ベートーヴェン と G.ジルバーマン
4. F.シューベルト と I.ベーゼンドルファー

問(30) ピアノの手入れ・使用環境について、正しいものを1つ選べ。

1. 鍵盤上面を殺菌・除菌目的で消毒用アルコールを使用すると、白鍵に割れが生じる原因となる。
2. 冬季に室内を暖める時は、ピアノに結露が生じないように速やかに行うことが望ましい。
3. 冬季の暖房として使用する石油ストーブは、結露を生じにくい。
4. ピアノのオールカバーは、簡易的な防湿効果があり、公共施設では多用される。

問(31) 駒について、正しくないものを1つ選べ。

1. 駒は弦のダウンベアリングのほか、駒ピンによりサイドベアリングを担っている。
2. 駒ピンは、駒に垂直に挿入され、弦を駒に密着させる。
3. 長駒は、できる限り響板の中央に配置するように取り付けられている。
4. 積層合板製の駒の場合、木目が響板に垂直なものの方が、平行なものより弦振動を響板によく伝える。

問(32) 通常の 88 鍵のピアノの鍵盤の基準寸法で、適切でないものを1つ選べ。

1. 白鍵フロント(白鍵前端から黒鍵前端まで)の長さは 48～52mm
2. 黒鍵上面の幅は 9.0～10.5mm
3. 黒鍵の長さは原則として 95mm
4. 鍵盤の総幅(1A～88C)は 1490～1520mm

問(33) ピアノに使用される木材と使用部品の組み合わせで、正しいものを1つ選べ。

1. カバは、外装の化粧材に用いられる。
2. 黒檀は、駒に用いられる。
3. カエデは、鍵盤材に用いられる。
4. ブナは、フレンジに用いられる。

問(34) アップライトピアノのスプリングで、使用する音域により太さが異なるものを1つ選べ。該当するものがない場合、4を選べ。

1. バットスプリング
2. ジャックスプリング
3. ダンパーレバースプリング
4. 1～3に該当するものなし

問(35) 平均律割振りについて、正しいものを1つ選べ。基音は 37A、音域は 33F～45F とする。

1. 長3度の唸りの回数は、最も遅いものに比べ最も速いものは、約 1.6 倍である。
2. インハーモニーシティの影響は、無視できる程度である。
3. 33F-38A#と 38A#-45F の唸りは、1:2である。
4. 37A-42D の唸りが、基準の2倍のときは、およそ2セント高い。

問(36) セント法について、正しいものを1つ選べ。

1. セント法は、対数計算に基づくものである。
2. セント法は、メルセンヌにより考案された。
3. A=440Hz のとき、37A-49A のオクターブは 1200 セント、49A-61A のオクターブは 2400 セントとなる。
4. A=440Hz のとき、37A-40C を純正の短3度にすると、314 セントである。

問(37) 音律に関する記述で、正しくないものを1つ選べ。

1. 純正律には、長2度に大全音と小全音の2種類がある。
2. ミートーンとは、大全音と小全音の差の両比率を中間に比率させる音律である。
3. 平均律音階は、J.S.バッハによって構築された。
4. 平均律音階では、長3度に多くの唸りが生ずる。

問(38) 弦の振動数について、正しくないものを1つ選べ。

1. 弦の振動数は、弦の単位長さの密度の平方根に反比例する。
2. 弦の振動数は、弦の長さに反比例する。
3. 弦の振動数は、弦の振幅の2乗に反比例する。
4. 弦の振動数は、張力の平方根に正比例する。

問(39) 二点イ音(61A)付近を共通倍音に持つ音の組み合わせを1つ選べ。

1. 37A-44E
2. 33F-37A
3. 37A-45F
4. 44E-49A

問(40) ペダルについて、適切なものを1つ選べ。

1. ダンパーペダル調整の遊びは、ペダルのストロークの1/2が標準である。
2. シフトペダル調整の遊びは、ペダルのストロークの1/3が標準である。
3. ダンパーペダルのストロークエンドは、ペダル突上げ棒の袋ナット(突上げ棒調節スクリュー)で決まる。
4. シフトペダルのストロークエンドは、右拍子木の調整ネジの出し入れで決まる。

問(41) ピアノの整調について、正しいものを1つ選べ。

1. ベッディングスクリュー(滑り金具)を調整しても、他の工程には影響がない。
2. アップライトピアノの打弦距離(ハンマーストローク)を広くすると、ハンマー接近(レットオフ)が広がる。
3. ハンマーシャンクフレンジのかたさ(センターピン・トルク)は、レペティションレバースプリングの強さに影響する。
4. 黒鍵の深さ(あがき)は、働きで合わせると白鍵より深めになる。

問(42) アップライトピアノ整調について、関連のない組み合わせを1つ選べ。

1. ペダル調整 と 打弦距離(ハンマーストローク)
2. 打弦距離(ハンマーストローク) と ハンマー間隔・弦合わせ
3. 鍵盤の高さ(ならし) と カラ(ロストモーション)
4. カラ(ロストモーション) と ペダル調整

問(43) 整調について、正しいものを1つ選べ。

1. ダンパー止音は、鍵盤の深さを2mm 戻した位置である。
2. アップライトピアノの同音連打性能は、1秒間に7回前後である。
3. アップライトピアノのソフトペダル調整は、打弦距離が正しくなるように調整する。
4. 打弦距離を狭くすると、ハンマー接近(レットオフ)が広がる。

問(44) 働きについて、正しいものを1つ選べ。

1. ハンマー接近(レットオフ)を狭くすると、働きは小さくなる。
2. アップライトピアノのキャプスタンボタンを奥にすると、働きは小さくなる。
3. アップライトピアノでは、働きは調整できない。
4. グランドピアノの打弦距離(ハンマーならし)を狭くすると、働きは小さくなる。

問(45) 張弦修理について、正しいものを1つ選べ。

1. 弦の巻き数は、ISO 規格で決められている。
2. 手袋、ゴーグルを使用し、作業の安全を図る。
3. 断線の予防策として、弦の太さを半番手上げると効果的である。
4. チューニングピンタイトナーは、チューニングピンを膨張させてトルクを回復する。

問(46) 張弦後、チューニングピントルクを測定する場合、最も適切なものを1つ選べ。

1. 弦を引っ張る方にピンを回して測定する。
2. 弦を緩める方にピンを回して測定する。
3. 弦を引っ張る方と緩める方の両方を測定する。
4. どちらでも良い。

問(47) 鍵盤修理について、適切なものを1つ選べ。

1. 鍵盤鉛が緩んだ場合、いったん取り外してから接着する。
2. 鍵盤上面を貼る接着剤は、伸縮しないものを選ぶ。
3. フロントピンの摺動部のブッシングの長さは、10mm が適切である。
4. バランスピンホールを広げる際は、左右方向のみ広げる。

問(48) センターピン交換について、適切なものを1つ選べ。

1. センターピンの切断は、片側のみでよい。
2. センターピンと木部の嵌合が緩い場合は、粘性の高いオイルを塗布して調整する。
3. フレンジが自重でゆっくり下がるトルクが適切である。
4. センターピンは 21 番使用を基本とし、木部とブッシングクロスの調整を適切にする。

問(49) アップライトピアノの修理について、正しくないものを1つ選べ。

1. ウイペンヒールクロスは、全面接着をしない。
2. バックチェックフェルトは、全面接着をする。
3. ダンパーレバークロスは、全面接着をする。
4. ハンマーシャンクの木口は、接着剤を付けない。

問(50) 消音型ピアノや自動演奏ピアノについて、適切なものを1つ選べ。

1. 電子音源内蔵の自動演奏ピアノは、電子音源に合わせて調律を行う必要がある。
2. 生ピアノの整調に先立って、センサー調整を行う。
3. 自動演奏装置の光センサーの調整を行うと、生ピアノのタッチが変化する。
4. ピアノ内部を調整する際は、安全のため電源プラグを抜く。